

秘境の作物「中津芋」栽培体験 (植付編)

「中津芋」は、ジャガイモの一種で、表皮が赤紫色で通常の物より小さいのが特徴で、煮ても蒸かしても形が崩れにくく、皮ごと食べることも出来る、中津川地域特産のジャガイモです。「さかさつぼり」と言われている独特の耕法で急斜面の畑を耕し、奥秩父の寒暖の激しい気象条件と砂利が多く混じる土壌が生み出す「秘境の作物」です。

今回は、そんな「中津芋」の栽培体験です。4月14日(日)の植付編と、7月7日(日)の収穫編の全2回となります。なお、収穫時には、1組当たり5kgの生いもをお持ち帰り頂けます。また、両日とも昼食付きとなります。あなたも、秘境の作物「中津芋」の栽培にチャレンジして、是非、その味をご賞味ください。



[種芋を等間隔で置いて、土をかぶせていきます。]

- ★開催日時 平成31年4月14日(日)午前10時から午後1時まで
- ★開催場所 彩の国ふれあいの森 埼玉県森林科学館周辺(秩父市中津川地内)
- ★参加費 1組につき 4,000 円(植付・収穫の全2回分)※昼食付き
- ★定員(対象) 5組(1組4人まで:申込順)、小学生以上(小学生は保護者同伴)
- ★申込方法 平成31年3月1日(金曜日)から平成31年4月7日(日曜日)までに埼玉県森林科学館(電話0494 - 56 - 0026)へお申込み下さい。